



# みなみ

発行日 平成28年10月31日



No. 8

## できることからひとつずつ！

～少しの意識を日々大切に～

校長 宮 居 伝

二学期も折り返しを迎えた今、子どもたちはマラソン大会に向けた取組や図画工作科・書写の作品制作に頑張っています。

また、これまでのいろいろな取組を節目として成長してくれてきた姿に、大きな拍手を送りたいと思います。

このようななか、この時期だからこそ大切にしたいと考えさせられた投稿記事を紹介します。それは、「滋賀教育（一般社団法人滋賀県教育会発行・第705号）」に掲載されていた次のようなものです。

### ソウ。ソウ。ソレデ。

入学してしばらくは楽しい学校生活の話を楽しんでいた一年生の子でした。が、気がついたら、嫌なことや困ったことに話題が変わり、そのうち、だんだん話をしなくなりました。心配をしたお母さんは、担任の先生に相談をしました。先生は、

「お話をしっかり聞いてあげてください。」

と、助言しました。お母さんは、先生の助言の通り話を聞くことにつとめようと心に決め、その日からお母さんは変わりました。

「学校で嫌なことがあったの。友達が」

と言い出した時、いつもだったら、「どんなことがあったの」「どうしたの」と聞き出そうとしていました。が、その気持ちを押さえて、「ソウ。ソウ。」と相槌をすることにしました。鉛筆がなくなった話も「ソウ。ソウ。ソレデ。」を続けました。

「ソウ。ソウ。ソレデ。」の効果はすぐに表れました。鉛筆がなくなったのは、友達がそう言っていたことであると言い直しました。嫌なことについても、楽しいことがもっとあると話し出したのです。話しながら、次々と学校のことを思い出し、話題が広がったのです。

嫌な子と言っていたのに、話の途中から、「おにごっこでは、走りが早い子だよ。」「けんかしたけど、ぼくもよくなかったよ。」と、友達のことを嬉しそうに話すのです。

お母さんは、子どもの変化に気づきました。それは、「お友達は、どうしてたの。それからどうなったの。鉛筆はどうしたの。」と、矢継ぎ早に聞き出していた自分との違いに気づいたからです。

「ソウ。ソウ。ソレデ。」は、子どもの心を育てる魔法の言葉として、お母さんは、それからずっと大事にしているそうです。



外遊びが大好きな子どもたちです！

それぞれの学年も後半に入ったこの時期だからこそ、子どもたちに接する際、改めて、大切にしなければならないことはないかと思っています。

教育に携わる私たち教職員はもちろんのこと、子育てのひとつのヒントにさせていただければ幸いです。  
できることからひとつずつ！ 少しの意識を日々大切に！

### 11月行事予定

- 1日(火) 全校朝会 1年体重測定
- 2日(水) 3・4年体重測定
- 3日(木) 文化の日
- 4日(金) 5・6年体重測定
- 特別支援学級校外学習
- 5日(土) 4年親子フォーラム
- 7日(月) 2年体重測定
- 委員会活動(5・6年)
- 9日(水) 市子ども芸術展(～15日)

- 10日(木) 芸術鑑賞会
- 14日(月) クラブ活動
- 16日(水) マラソン大会
- \*予備日17日(木)
- 18日(金) 5年森林再生活動
- 19日(土) 5年親子フォーラム
- 21日(月) クラブ活動
- 22日(火) 3年校外学習
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 25日(金) 学級諸費集金日
- 26日(土) 能登川中学校入学説明会
- 28日(月) クラブ活動

### 12月主な行事予定

- 2日(金) 能登川地区子ども芸術展～4日
- 5日(月) 人権集会 委員会活動(5・6年)
- 8日(木) 学級諸費集金日
- 6年平和祈念館見学
- 9日(金) 3年CAP学習
- 14日(水) 地区別児童会 県下一斉清掃
- 16日(金) 期末懇談会～21日
- 20日(火) 給食終了
- 22日(木) 終業式 大掃除
- 23日(金) 天皇誕生日
- 24日(土) 冬季休業 ～1/6